



美唄市消防署 救急車及び救急資機材の紹介



平成29年に新たな救急車が運用され、それに伴い様々な資機材を導入しました！救急業務に際して、様々な資機材を使用し、傷病者を搬送しています。今回は、車両と資機材をそれぞれ紹介します！！



美唄市消防署には救急車が2台配置しています。向かって手前が救急1号車(日産パラメディック)、奥側が救急2号車(トヨタハイメディック)です。救急要請があれば、消防署から出動しています。



・救急車内の様子です。
傷病者の方々を搬送するのに必要な各種資機材を積載しています。



救急1号車の代表的な資機材を紹介します。

- ①除細動器: 傷病者の心電図を解析したり、電気ショックをするための資機材です。
- ②患者監視モニター: 血圧や心電図、血中酸素濃度を測定します。
- ③吸引器: 口の中や気道に詰まったものなどを吸引します。
- ④ストレッチャー: 傷病者を搬送するためのベッドのようなものです。
- ⑤LUCAS2: 自動心臓マッサージ機です。



・実際に患者監視モニターで測定した数値です。

- ①脈拍: 数字が脈拍数で、右側の波形が心電図です。
- ②血圧です。
- ③血中酸素濃度: 血液中にどの程度酸素が含まれているのかを表しています。最高が100%です。
- ④呼吸数: 1分間の呼吸数を表しています。



・LUCAS2(ルーカスツー)

胸骨圧迫を実施する資機材で、心肺蘇生法時に使用します。



バッテリー(約45分使用可能)・AC電源のどちらでも作動でき、病院内でも使用できます！！

大きさは、高さ:57cm、幅:52cm、奥行き:24cm、重量:約7.8kgです。

ケースから取り出すとこのような一式が入っています。一番大きなものが本体で、黄色いのは本体に接続する背板です。黄色いバンドは本体を固定するバンドです。



・LUCAS2を装着した様子

作動したら、真ん中のシャフト部分が伸び縮みして胸骨圧迫をします。(シリコン製の吸盤の付いている部分です。)



・設定状況2

(傷病者足側から見た状況です。)

LUCAS2を装着したら、それまで胸骨圧迫をしていた隊員は別の処置に入ります。



ご紹介した資機材は代表的なものですが、他にも沢山の資機材があります。各資機材の取扱方法の熟知や手技の技術向上のために、日々の訓練を重ねています！！